

地域産業支援委員会H30年度第2回例会議事録

2018.9.7（金）発行 地域産業支援委員会 委員長 末松正典

**1. 日時**：2018/9/1（土）14:30～17:25 **【次回は 2018/12/1（土）10:00～12:30 の開催予定です】**

**2. 場所**：九州本部 会議室

**3. 出欠（敬称略）**：【□出席者10名、■欠席者：6名】（欠席委員からは決議一任を頂いています）  
 □味澤、■小出、□末松、□高嶋、□田口、 ■長野、■□西尾（途中出席）、■久富、□姫野、  
 ■福田、□松尾、□松永、■松原、□八百屋、□山田、□吉田

**4. 議題**

- 1) 14:30-16:50；各グループからの議題に関する報告・質疑応答・今後の活動内容の確認  
 (11)第2四半期の活動報告 (12)次回の業務体験紹介者の選定
- 2) 16:55-17:25；話題提供 山田委員からの話題提供と質疑応答

**5. 配布資料類**

- 資料①-0：地域産業支援委員会 H30年度第2回 議事  
 資料①-1：地域産業支援委員会活動計画及び経過表（H30年度：2018.4月～2019.3月）  
 資料①-2：地域産業支援委員会 改訂会則（初版：2015.2.21⇒改訂1：2018.6.2）  
 資料①-3：技術士だより九州投稿「技術相談窓口設置の経緯・現状と今後の取組み」  
 2018.10.15（117号）（吉田委員）
- 資料②-1-1：「技術相談のご案内」リーフレットの更新案（表）  
 資料②-1-1：「技術相談のご案内」リーフレットの更新案（裏）  
 資料②-2：技術相談募集PR先（案）  
 資料②-3：技術相談実績（記録フォーマット案）
- 資料③-1(1)：二月会参加報告（H30.6.4）（西尾委員）  
 資料③-1(2)：二月会参加報告（H30.6.4）（味澤委員）  
 資料③-2：一金会参加報告（193回）（H30.6.7）（味澤委員）  
 資料③-3：一金会参加報告（194回）（H30.7.6）（味澤委員）  
 資料③-4(1)：九州知財交流会参加報告（H30.7.26）（末松委員）  
 資料③-4(2)：九州知財交流会参加報告（H30.7.26）（味澤委員）  
 資料③-5：二月会参加報告（H30.8.6）（松永委員）
- 資料④-1：九州・沖縄産業技術オープンデー出展ノミネート  
 資料⑤-1：機械部会 Web 中継報告（H30.6.8）（姫野委員）  
 資料⑤-2：機械部会 Web 中継報告（H30.7.13）（末松委員）  
 資料⑤-3：機械部会 Web 中継報告（H30.8.10）（末松委員）

**6. 議題に対する結果（決定事項など）：**

**6. 1 各グループのH30年度1四半期の活動報告：**

★資料①-1：5グループ全体の活動のまとめにより全体の活動を説明。

**1) 第1グループ 【文責：末松】**

- 資料①-2：地域産業支援委員会 改訂会則。主な改訂内容は以下。  
 ・6条；①委員長の任期：2期→3期、②副委員長：2期→期の制約除去  
 ・7条：関連規定及び文書類において、細かな規定・文書類を除去
- 資料①-3：技術士だより九州への10月号掲載。昨年度と同様に技術相談窓口活動としたが、更新して3年目となることから“現状と今後の取組み”として1ページものとして総括した。

## 2) 第2グループ【文責：田口、山田、吉田】

- 資料②-1：リーフレット更新案を議論し、以下に決定した。
  - ・6パターン中の(5)とし「技術士があなたのご相談にお答えします」の文言を入れる。
  - ・間違い修正箇所：①九州支部→九州本部、②九州本部の住所（旧住所を新住所へ）
- 資料②-2：技術相談募集PR先
  - ・追加：①福岡県商工会連合会、②北九州商工会議所、③FAIS
  - ・エコテクノ九州でのリーフレット設置は、吉田委員が行う。
  - ・改訂版作成費用について：作成部数に対する価格見積りに応じて本部長と相談の上決める  
（およその部数見積り：6県支部あて300部見込み、PR先用に約300～500部程度か？）
- 資料②-3：技術相談実績（記録フォーマット案）について、今までの案件を吉田委員が記入することとした。新規案件は「技術の相談」窓口経由案件のみでなく、地域産業支援委員会が個人的に対応した案件も記入する事とした。

## 3) 第3グループ【文責：味澤、末松、西尾】

- 資料③-1：ベンチャープラザ二月会出席報告（H30.6.4（月））
  - ・参加者は5名（敬称略：味澤、栗生、泉館、西尾、松永）、参加した西尾委員、味澤委員から報告された。概要のみ以下に記載し、詳細は事前配布資料参照。
  - 【味澤文責分】 i) 「講演」(株)Q Tnet『共創によるサービス開発』：株主九電、九電グループで蓄積されたノウハウ・ネットワークを武器に地方中小企業との協働により事業支援活動を展開（共創）。 ii) 「発表A」(株)アイマリック『サージブロッカー（防雷対策ユニット）』：電子機器類の普及により雷の進入路が多岐に渡り被害増大の為個別に設置併設する事で被害を防ぐユニット。 iii) 「発表B」ベルズシステム(株)『質問回答人工知能「ロアンナ」事業』：特に企業紹介や受付等での省人化対応機器。各企業毎にNEEDSリサーチを行いQ&Aを学習させる機械学習の範疇。 iv) 「発表C」(株)シー・エフ・ビー『「自動消火システム」ケスロボの開発・製造・販売』：消火器にアタッチメントとして設置し初期消火を図る全自動初期消火システムの開発製造販売技術。
- 資料③-2：一金会参加報告（193回）（H30.6.7）
  - ・参加者は1名。参加した味澤委員から報告された。概要のみ以下に記載し詳細は事前配布資料参照。
    - i) 演題「地域における未来投資について」、講師「経産省大臣官房総括審議官 飯田裕二氏」。
    - ii) 地域経済産業政策の方向性の一つとしての「地域中核企業への集中的支援」。 ii) 地域中核企業支援策としての「地域中核企業創出・支援事業」「地域未来投資促進法（H29.7.31 施行）」「地域経済牽引事業」「地域未来牽引企業の選定」の紹介。
- 資料③-3：一金会参加報告（194回）（H30.7.6）
  - ・参加者は1名。参加した味澤委員から報告された。概要のみ以下に記載し詳細は事前配布資料参照。
    - i) 演題「九州新聞攻防史」、講師「(株)西日本新聞代表取締役 柴田健哉氏。 ii) 明治大正昭和初期の新聞は戦争関連報道が席卷していた。 ii) 朝日・毎日・読売新聞の九州進出戦略、特に戦後の「読売興業」創設による読売の攻勢。 iii) 全国新聞販売部数は、2007年5,202万部に対し2017年4,212万部と10年間で990万部減。 iv) オクスフォード大内シンクタンクによる「信頼度調査報告書」では『1位日経、2位地方紙、3位読売、4位産経、5位毎日、6位朝日』と成っている。
- 資料③-4：九州知財交流会参加報告（H30.7.26）
  - ・参加者は3名（敬称略：味澤、末松、西尾）。参加した末松委員、味澤委員から報告された。概要のみ以下に記載し、詳細は事前配布資料参照。
  - 【味澤文責分】 i) 演題「商標の類否判断（呼称同一事例）」、講師「特許庁商標審査官 石井係長」 ii) 『商標権』＝『マーク（文字・図形等）』＋『使用する商品・サービス（役務）』（例えば、商品自動車・サービス自動車修理）。 ii) 『類似』か否かの判断は『呼称』『外観』『観念（客が間違いか間違いやすいかどうか）』の3要素を総合的に観察して判断する。 iii) 効力は（45分類ある区分の内）商標登録願に記載する商品（役務）の区分に於いてのみ有効。 iv) 「呼称同一・類似」の先願がある場合はその商標採択を見直すのがリスク回避に繋がる。 **【推奨HP】2件**

(\*1)「商標審査基準」(特許庁):[https://www.jpo.go.jp/torikumi/t\\_torikumi/13th\\_kaitei\\_h29.htm](https://www.jpo.go.jp/torikumi/t_torikumi/13th_kaitei_h29.htm)

(\*2)「『本願商標』拒絶凡例」:[www.ip.courts.go.jp/app/files/hanrei\\_jp/552/083552\\_point.pdf](http://www.ip.courts.go.jp/app/files/hanrei_jp/552/083552_point.pdf)

○資料③-5:二月会参加報告(H30.8.6)

- ・参加者は3名(敬称略:泉館、西尾、松永)。参加した松永委員(西尾委員補足)から報告された。内容は事前配布資料参照。

#### 4) 第4グループ【文責:末松】

○資料④-1:「H30年度第8回産総研九州・沖縄産業技術オープンデー出展」のノミネートについて報告。  
 本年は、宮崎県工業技術センター(宮崎市佐土原町)にて行われるため、宮崎県支部の協力を得て対応する。現地へは本委員会からの対応は2名の予定(本部長了解済み)。

#### 5) 第5グループ【文責:末松、姫野】

○資料⑤-1:統括本部の機械部会主催のWeb中継受講(H30.6.8)。

- ・参加者は8名(敬称略:金丸、佐竹、末松、西尾、姫野、松永、松山、森川)。参加した姫野委員から報告された。内容は事前配布資料参照。

○資料⑤-2:統括本部の機械部会主催のWeb中継受講(H30.7.13)。

- ・参加者は10名(敬称略:金丸、小長、末松、高嶋、蜂谷、久富、姫野、堀田、松永、松山)。参加した末松委員から報告された。概要を以下に記載。詳細は事前配布資料参照。

a) [演題テーマ1:安全を左右する作業者のミス・エラーと行動特性(堀田源治氏:有明高専)]  
 行動特性に3種ある。(1)リスク敏感型、(2)リスク意識型、(3)リスク鈍感型(軽率)。

【留意点】作業に慣れていない場合は慎重になるが、作業になれると失敗や災害のリスクを持って作業する傾向が表れるので注意が必要。

b) [演題テーマ2:機械部品などの構造物を評価する(福崎昌宏氏:日立建機)]

【留意点】金属の強度強化方法には各種ある。そういった方法で強化しても割れが発生する場合がある。主要要因は4種類(化学組成、材料組織、強度試験、製造工程)ほどあり、これらの原因系を調査して特定する必要がある。

○資料⑤-3:統括本部の機械部会主催のWeb中継受講(H30.8.10)。

- ・参加者は5名(敬称略:小長、末松、蜂谷、姫野、松山)。参加した末松委員から報告された。概要を以下に記載。詳細は事前配布資料参照。

a) [演題テーマ:人間共存ロボットに求められる技術(菅野重樹氏(早稲田大学))]

b) 経産省や厚労省がイメージしている未来へ向けたロボット事業は以下の5つ。

① 移乗介助、②移動支援、③排泄支援、④認知症者の見守り、⑤入浴支援

先生は、①②の分野(移乗介助、歩行介助等)の研究開発を行っているが特徴がはっきりしなかった。

## 6. 2 技術業務事例紹介:

1) 山田委員から話題提供:「事業主としてのビジネス開発事例」

- ・大手民間企業退職後、事業主として独立。その後ビジネス案を創案。うまくいかない場合は、その事業は取りやめ、新たな事業を起案してきた。現在従業員2名を抱えるまでになった。そのプロセスでのいくつかの事業案を紹介。

2) 次回(H30年12/1の第3回例会)

話題提供者:吉田委員

以上